

キャラクター名
アド・ヴァンス

プレイヤー名

種族	スプリガン	種族特徴	暗視/巨人化		
生まれ	戦士	性別	男性	年齢	26
冒険者Lv	10	経歴	家族に異種族がいる		
経験点	0		同性の家族がいない 異種族の町で育った		

技	10	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	6	9		25	4
体	12	敏捷度	7	7		24	4
		筋力	6	8		26 + 2	4
心	6	生命力	3	4	5	24	4
		知力	10	2		18	3
		精神力	2	4		12	2

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	10		
スカウト	7		
エンハンサー	5		
ライダー	10		

戦闘特技			
タフネス	2122p		p
トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123p		p
全力攻撃	1-286p		p
武器習熟A/スピア	1-281p		p
なぎ払い	1-288p		p
頑強	1-279p		p
武器習熟S/スピア	1-281p		p
			p
			p
			p

言語	会話	読文
巨人語	○	○
交易共通語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	極高所攻撃
マッスルベアー	
ビートルスキン	
ガゼルフット	
キャッツアイ	
ジャイアントアーム	
騎獣強化	
高所攻撃	
HP強化	
攻撃阻害	
人馬一体	
獅子奮迅	
特殊能力解放	
超高所攻撃	
HP超強化	

名誉アイテム	点数
ハイペリオン級冒険者	700
名誉点所持	200 /合計 900

技能	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力 ダメージ
ファイター	10	14	14 14
グラブラー	0		
フェンサー	0		
シューター	0		

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ハードレザー		13	0	4
盾	タワーシールド		17	0	2
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	14	7	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ヘビーランス	1H	25	-1	2d+	13	10	17	35										
ヘビーランス	1H騎	25	-1	2d+	13	0	17	45										
				2d+														

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
スーツアーマー	○□□○□□
コルセスカ	○□□○□□
グレートカルキノスの騎獣契約スフィア	○□□○□□
魔晶石(3点)x15	○□□○□□

ペガサスの騎獣専有証	○□□○□□
騎獣縮小の札II	○□□○□□
怪力の腕輪x3	○□□○□□
巧みの指輪x5	○□□○□□
俊足の指輪x5	○□□○□□
所持金	15780 G
預金・借金	G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	24 m	72 m	2d+	14	7
					84

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	13/×	2d+	11	
		2d+	14	2d+
			12	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳	スマルティエの聴音器 10m手前から聞き耳判定を行える
顔	スマルティエのアイガード 純エネルギー属性の魔法ダメージを-4
首	スマルティエの熊の爪 マッスルベアーの筋力Bに+1する
背中	スマルティエのセービングマント 回避や抵抗の失敗時に魔法ダメージ-4
右手	スマルティエの怪力の腕輪
腰	スマルティエのブランクベルト
足	スマルティエの軽業のブーツ 転倒しなくなる
その他	

装備品	説明
左手	

その他メモ	自動失敗 チェック	
マカジャハット王国出身のスプリガン。元々はスプリガンの持つ悪習である取り替え子によって、人間たちの町に取り残された子供だった。娼館で勤める娼婦に拾われ、娼婦たち全員の『子供』として育てられる。なおこの時、全員揃って人間の子供だと思っていたため、13歳までは「なんか身長が伸びない子だな？」くらいに思われていたが、15歳くらいから「身長が伸びないどころか顔立ちも幼いままっておかしくない？」と、本人も含めて頭に「？」が魚群を作っていた。しかし学がある高級娼婦などいない、良い言い方をすれば良心的な価格設定なお店だった彼の家に、学のある者は経営者込みでいなかった。なので、頼られたのはキルヒアの神殿。歡喜を持つ神官に聞いたところ、そこでようやく彼がスプリガンだと分かった。そしてスプリガンがどんな種族かも知った事で、初めて巨人化できると分かり、実践してみたところ3mになったので全員でびっくりした。それからしばらく巨人化能力で力仕事や質の悪い客の相手、ついでに地上げ屋をしばき続けた末に、母親たちから「その腕関節を世の中に役立てて来なさい」と背を押されて冒険者になり、今に至る。	○□□□⑤	
		○□□□⑩
		○□□□⑮
		○□□□㉔
		○□□□㉙
		○□□□㉚
		○□□□㉛